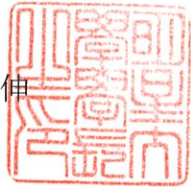


関係大学長
関係大学学部長 殿
関係機関の長

明星大学
学長 富樫 伸



教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

本学人文学部人間社会学科では、より魅力的な授業を学生に提供するため、2027 年度より新しいカリキュラムを導入することを予定しております。そのための人事の一環として、下記要領により教員を公募いたします。

つきましては、貴学（機関）関係者にご周知いただくと共に、適任者のご推薦についてお取り計らいの程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募 集 職 名 : 教授、准教授または助教
2. 募 集 人 員 : 1 名
3. 応 募 条 件 :
 - (1) 現代社会の現場に入るフィールドワークの豊かな学識と経験を持ち、大学周辺地域をはじめ地域との連携を築きながら、実践的な授業が展開できる方
 - (2) 本学の建学の精神、教育理念・目的を理解し、私立大学の教員として本学の経営及び運営に貢献することができる方
 - (3) 研究活動や社会活動に熱心に取り組むとともに、人間社会学科の学びの特色を理解し、フィールドワーク関連授業の設計、運営の中心を担い、新設する社会調査室の担当教員となれる方
 - (4) 博士学位の取得者、もしくはそれと同等の学識・業績を有する方、専門社会調査士の資格取得者であることが望ましい
4. 提 出 書 類 :
 - (1) 履歴書（本学指定のもの）
 - (2) 教育研究業績書（本学指定のもの）
 - (3) 主要研究業績の現物（複写でもよい）3 篇
 - (4) 人間社会学科で教育・研究に従事することを希望する理由書
(2,000 字程度)
 - (5) 授業試案（2 種類）
 - ① 「ドキュメンタリー実習」あるいは「フィールドワーク実習」（通年の社会調査実習科目）
 - ② 「社会学基礎ゼミ B: フィールドワーク体験」（半期 初年度教育科目）
あるいは「多摩地元学実践」（通年 地域と連携したフィールドワーク科目）
 - * ①②の授業をどのように展開していくのか、調査テーマ、調査内容、教育上の工夫を含めて記述してください（それぞれ 1,500 字程度）。
受講生は 15 名前後で想定してください。
 - (6) 応募者本人の教育、研究、社会的活動、人柄などについて問い合わせができる方 2 名の氏名、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）を記載した書面

※本学指定の様式は、以下よりダウンロードの上ご使用ください。
明星大学ウェブサイト（地域・企業の方>教職員募集）
<https://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html>

5. 応募締切日 : 2024年9月27日（金）必着
6. 採用予定日 : 2025年4月1日（火）
7. 配属先学部 : 人文学部 人間社会学科
東京都日野市程久保 2-1-1
（最寄り駅は多摩都市モノレール、中央大学・明星大学駅）
8. 書類提出先 : 原則として「JREC-IN 研究者人材データベース」ウェブサイトからご応募ください。
<http://jrecin.jst.go.jp/>
（郵送が必要な書類の送付先）
〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1
明星大学 人文学部支援センター 教員人事担当 宛
※レターパックや書留郵便等の配達記録が残る方法で送付して下さい
9. 問い合わせ先 : 明星大学 人文学部支援センター 教員人事担当
e-mail : gad-jinbun-g2024@ml.meisei-u.ac.jp
電話番号 : 042-591-5527（平日 10:00~17:00）
10. 専門分野 : フィールドワークに係る豊かな学識と経験をお持ちの方
11. 担当予定授業科目 : (1) 「ドキュメンタリー実習」あるいは「フィールドワーク実習」（社会調査実習科目）のいずれかを担当する。
(2) 「多摩地元学実践」（地域と連携したフィールドワーク科目）と「社会学基礎ゼミ B:フィールドワーク体験」（初年度教育科目）を担当する。
(3) (1) (2) のフィールドワーク関連授業の設計、運営の中心を担い、新設する社会調査室の担当教員となる。
(4) そのほか採用者の専門分野に適した授業を担当いただく（新カリキュラム前の現行カリキュラムの関連科目を含む）。
12. 選考内容 : 第一次選考 書類審査
第二次選考 模擬授業・面接 10月14日（月）
（詳細は第一選考通過者に10月5日（土）前後にお知らせします）
13. 結果通知方法 : 文書またはメールにてお知らせいたします。
14. その他 : (1) 応募書類は、選考の進行状況に応じて追加していただく場合があります。
(2) 個人情報の取り扱いに関しては個人情報保護法をはじめとする個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守いたします。
(3) 「JREC-IN 研究者人材データベース」ウェブサイト
<http://jrecin.jst.go.jp/>にも掲載しています。

15. 勤務時間 : [教授・准教授・助教共通]
就業時間 : 9 : 00-17 : 00 (土曜日については終業時間 15 : 00)
休憩時間 : 60 分
勤務時間については、授業等やむを得ない場合には変更することがあります。
16. 各種制度 : 昇給制度、賞与制度、退職金制度、定年制度 (満 65 歳に達した日の最初の 3 月 31 日)
17. 諸手当 : 住宅手当、家族手当、通勤交通費実費支給 (上限月額 55,000 円)
18. 休日・休暇 : A) 日曜日
B) 国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日
C) 年末年始 (12 月 29 日から翌年 1 月 5 日まで)
D) 創立記念日 (5 月 20 日)
E) その他、学苑が特に定めた日
※ただし、大学の授業日等の関係で、祝日を出勤日とし、別日を休日とする場合がある。
19. 福利厚生 : 健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
20. 賃金 : [教授]
年収 : 700 万円~1,200 万円 ※賞与については 5 か月で計算。年度により変動あり。給与 : 本学給与規程による。例) 40 歳の場合の月額俸給 教授 523,200 円
[准教授]
年収 : 600 万円~1,100 万円 ※賞与については 5 か月で計算。年度により変動あり。給与 : 本学給与規程による。例) 40 歳の場合の月額俸給 准教授 504,000 円
[助教]
年収 : 500 万円~ ※賞与については 5 ヶ月で計算。年度により変動あり。給与 : 本学給与規程による。例) 40 歳の場合の月額俸給 助教 481,200 円
21. 任期 : 教授・准教授 : 任期なし
助教 : 任期あり (任期 3 年、再任 (任期 1 年) は 2 回を限度とする)
なお、業績審査の上、准教授への昇任も可能。
22. 試用期間 : 教授・准教授 : 採用日より原則として 3 ヶ月間を試用期間とする。
助教 : 採用日より原則として 2 ヶ月間を試用期間とする。
※待遇の変更はありません。

以上